エディタ制についてQ&A1

成果検討分科会 伊藤成朗

April 18, 2025, 10:04 +0900

## 箭内さんからの質問と暫定的回答

1. 「相互に矛盾する結果の消去」の意味は？
   * これは原稿についての記述で、検討票についての記述ではありません。主に推計結果について想定しています。推計によっては、相互に矛盾する結果が出ることがあり、安易な著者だと「都合の良い結果」だけを残すことがあります。(定性的な分析でもこうした事例はあるのかもしれないですが)
   * 検討者間に矛盾がある場合(「終章を付けるべき」「終章は不要」)は、出てきたら考えましょう。
2. 「検討完了日変更の相談」については、引き続き事務局で対応していただけないか[[1]](#footnote-20)
   * 長期の延長や幾度の延長でない限り、事務局+座長による了承→エディタおよび分科会に報告、了承を得る
3. 「指摘内容のまとめ」を審査者に求めるのは負荷が多すぎないか？
   * 検討票の講評部分に下記を加える

* できる限り、個別指摘点の要約ともなるように記してください。

1. 特定の指摘事項を「まとめ」として抽出すると、研究会の対応がそれだけにとどまったり、指摘内容の意図を正確に伝えきれなかったりする虞れが生じる。
   * その恐れが確かにあります。よって、まとめは分科会限りにします。用途は主な指摘事項をクリアしているかどうかの確認です。
2. 既に提出された原稿の仕上がり具合が悪い場合、どうしたらよいか？
   * 別のエディタからも同じ懸念が表明されました。
3. フォーム
   * フォームのお試し版を事務局で用意します。次項参照。

## エディタ報告フォーム

第2回分科会で必要性について提起されました。記録のためにもエディタ報告には報告フォームを用意するようお願いいたします。

フォームは特に準備いたしませんが、以下の項目を含めてください。

1. 研究会概要
   1. 課題ID
   2. 最終成果の発表形態・備考(一般書、学術書)[[2]](#footnote-22)
2. 成果概要
   1. 章題-執筆者名の表[[3]](#footnote-23) [[4]](#footnote-24)
   2. 単行書のトピック
3. 指摘概要[[5]](#footnote-25)
   1. 内容
   2. 表現、構成、体裁
4. エディタ判断
   1. 検討票・原稿への修正要請有無
      * 指摘内容の正当性
      * 指摘内容の一意性(対象・疑問・意見が具体的・特定的であること)
      * 表現の穏当さ
   2. 検討者・研究会への参考意見有無
      * 分科会からの参考意見付与には下記の条件を要する
        1. 分科会委員全員の同意を得ること
        2. 任意対応の意見とすること
        3. 発議するエディタが論拠を示すこと

## 原稿の仕上がり具合が悪い場合

### 検討者はどう対応できるか

* 今まで: 原稿ファイルに直接書き込み
* 段落単位、もしくは、節単位で内容を明確化するように尋ねる

### 検討制度を変更

* 検討回数: 2回→1回[[6]](#footnote-28) [[7]](#footnote-29)

## その他

第2回成果分科会後に、事務局内で以下を話し合いました

### 検討回数

検討回数が2回になっていることの長短

* 長所
  + 複数回読んでもらうことで着実に内容が改善する
  + 却下となる研究会成果が減るので発行点数(単行本の本数)を減らさずに済む
* 短所
  + 時間と労力を要する
  + 初稿の完成度が低いなどの甘えを誘発する

その他の意見

* 初稿提出期限を延期すれば1回で完成度を高められるか? 2月中旬→3月中旬
* 研究企画委員会だけで決められる問題ではない

### 検討日程のリスケジューリング

* リスケジューリングを断っても立ち行かない場合がほとんど←了承せざるを得ない
* 長期の延長や幾度の延長でない限り、事務局+座長による了承→エディタおよび分科会に報告、了承を得る

1. 分科会委員が研究会側の場合、実質的にブラインドできないだろうというのが前回の認識でした。検討者名は分科会委員にブラインドされています。よって、分科会委員は研究会側としか直接連絡できません。 [↑](#footnote-ref-20)
2. 課題DBの成果提出表示ページに記載 [↑](#footnote-ref-22)
3. 誰がどの章を執筆したかを知ることが目的です。 内部/外部、専門分野などの知識は、検討過程効率化の材料にも成りえます。 [↑](#footnote-ref-23)
4. 成果検討分科会に対してブラインドすることも考えられますが、手間に見合う便益がないと思い、執筆者名は明示したいと思います。研究会主査に表提出を求めます。 [↑](#footnote-ref-24)
5. 検討者別にしても、前検討者をまとめても、どちらでも良いと思います。 [↑](#footnote-ref-25)
6. 検討者とエディタ(成果検討分科会委員)の業務負担を減らせる [↑](#footnote-ref-28)
7. ジャーナルではたいてい1回 [↑](#footnote-ref-29)